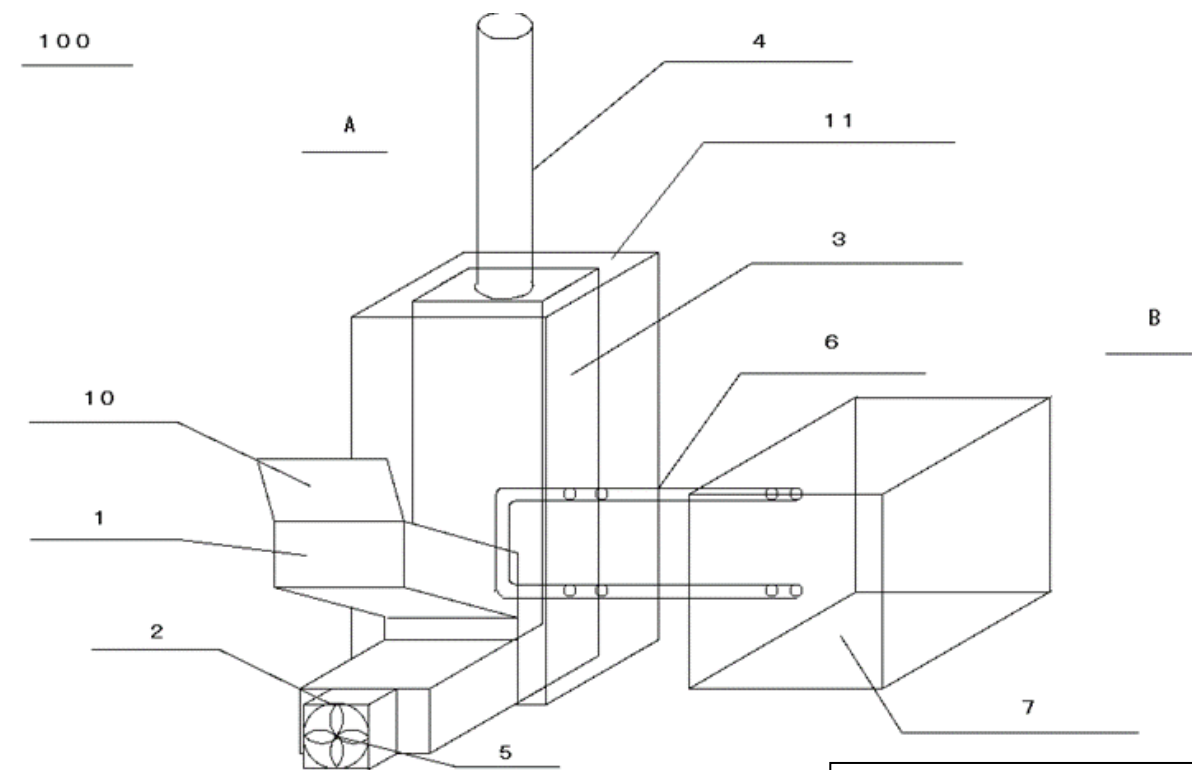
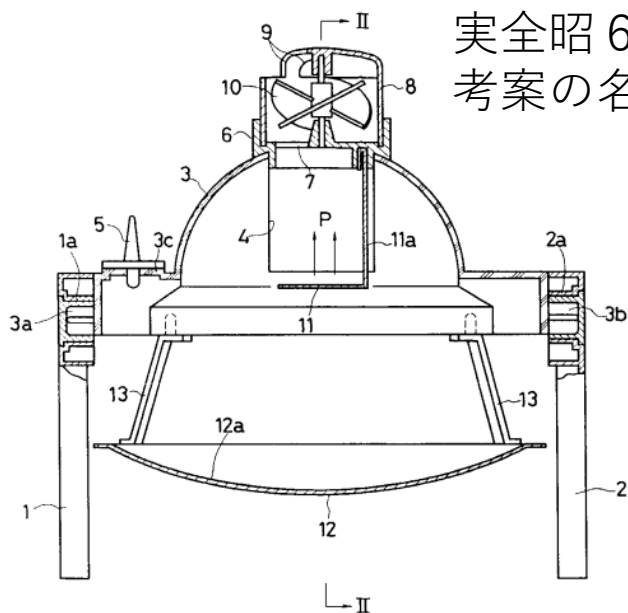


- 課題研究の授業でSDGsを通して「エネルギーをみんなにクリーンに」を考えた際にロケットストーブの話題になった。対流について原動機やボイラーの勉強で学んだが全員が理解はできておらず熱工学系の理解が乏しかった。また、原動機や熱工学は座学では学ぶが実態を見る機会が少なく、イメージがわからないという意見が多数出てきた。そこでロケットストーブを利用し、気体・液体の対流を確認でき、仕組みを理解することで対流を学べる実験装置の開発をしようと考えた。
- 課題として気体・液体の対流は目に見えないことが上がった

- AのようなロケットストーブにBのような水槽を取り付け6の管を通る水で液体の対流を可視化
- 2のファンで気体の対流を可視化



- J-PLATPATで簡易検索で300件近い特許や実用新案を検索し、作品と違う部分をあぶりだした。
- 検索してみると本作品と似通ってはいるが発明の効果が違っていたり、容器の形状を変えたただけであったり、方法が異なっていたりと特許発明になる可能性を感じられた。



実全昭63-020181
考案の名称 空気の対流実験具

- 左は試作1号機液体の対流の目視確認に成功した。

- 右は試作2号機気体の対流の目視確認に成功した。

